

## 評価者のコメント

### 事業名：小規模対策推進事業費補助金

---

#### <国際化推進事業>

JETROに一元化すれば良い。

JETROとの統合で対処可能。そもそも補助金で個別の会計・法務サービスを提供することに疑問あり。

他の機関を連携して同様な効果をあげる様、検討すべき。

他の機関で対応可能。

JETROと同居している上海事務所は、JETROへ機能を集約して一年以内に撤退すべきである。

JETROに委ねるべき。JETROも中小企業支援を強化しており、設立時の趣旨であった「JETROより低い敷居」という環境は変わっている。

HPなどをみてみると必ずしも小規模零細企業へのハンズオン支援という内容ではない。JETROが行っているのと同レベルであり、これではJETROと商工会の2事務所に国費を費やすことはダブリと思える。

#### <特産品販路開拓センター事業>

続ける場合には、収支を均衡させないとダメ。売場に商売の規律がない状態は不健全。

収支差額の補助等(担当局主張)に早急に支出額を削減して欲しい。

売上に応じて出展費を増すなど、自立に向けた効率化を行うべき。

特産品に国が補助しなければならない理由はない。地方団体が生き残りをかけて特産品の販路開拓をやっている今日、重複を避けるべきである。

出店者の負担をより増やすべき。ビジネスチャンスを提供するので、負担増は正当化できる。

すでに年商5億までいっている非常に優良な物産店舗である。ここまでくれば、国の補助など何も必要ない。売れ筋ばかり置かれるのではないが、という心配は、公益法人としての全国連の良心に委ねられると思う。

#### <創業塾・経営革新塾>

創業意欲のある企業個人に対しては、教育や経営指導に対して使用した経費に対して、税制面でのメリットを与えれば充分。

事業の効率性について、より定量的観点から見直すべき。広報費の削減の必要あり。

コストの大幅な効率化をはかるとともに、自己負担を増大すべき。

定額補助ではなく、効率化、有効性等を審査して、すぐれた取組みに補助を出すことが必要。

創業・経営革新塾に意欲ある人を集めた塾で、創業者の率が30%では全国平均で5%に比べて高いとはいえない。特に、銀行融資がキーである以上、補助の意義は不明確である。

意欲ある起業家、経営者は、民間の情報を活用する。一般的な講習では、あまり役に立たない。商工会でやる範囲はもっと限定すべき。また、フォローアップを充実させるべき。

すでに商工会、商工会議所に会費を払った上でのセミナー参加である。商工会、商工会議所の本来業務であり、国費を用いての補助金は必要ない。山間地での情報受信の難しさを考えるのであれば、自治体との連携などで解決を図ってほしい。

#### < 地域資源活用型新事業 >

事業のROIがわからないもの、フェアな計測が難しい案件にこのような資金を投入するべきではない。

特産品観光サービスの開発・商品化については、そろそろ限界があるのではないかと、むしろ、より効率的な目標分野を定めるべき。

費用対効果を検討、今後の事業のあり方を見直して欲しい。

地域主権を重視する政権の中で、地域が持っている固有の資源を生かして発展できるかどうか地域に問われている。地域の自主性・自立性を地域が主体的に実施すべきである。

他の類似の政策との調整・整理が必要。また、政策効果(とくに継続性)について、客観的に評価し、それに基づいて内容、規模を見直すべき。

経済産業省として、さまざまな機関を通してこの事業に類似した事業が行われている。各地の商工者の目線で有効な施策としてほしい。

## 評価結果

---

#### < 国際化推進事業 >

##### 廃止

(ただし、中国に限らず、JETROによる中小企業支援に万全を期す。)

(廃止7名 / 抜本的改善0名 / 一部改善0名 / 現状維持0名)

#### < 特産品販路開拓センター事業 >

##### 廃止し、自立化

(廃止2名 / 抜本的改善3名 / 一部改善2名 / 現状維持0名)

#### < 創業塾・経営革新塾 >

##### 今の事業は廃止

(中小企業者の創業や経営革新のため、真に効果ある支援策を検討。)

(廃止2名 / 抜本的改善4名 / 一部改善1名 / 現状維持0名)

#### < 地域資源活用型新事業 >

##### 抜本的改善

(支援終了後、事業につながるよう見直し。事業者の負担引き上げ、事業も効率化)

(廃止3名 / 抜本的改善2名 / 一部改善1名 / 現状維持1名)

## とりまとめコメント（議事録より抜粋）

---

### < 国際化推進事業 >

これは廃止といたします。ただし廃止をする上で、中国に限らずJETROによる中小企業の支援に対しての連携を今後とも万全を期すということを付け加えさせていただきたいと思えます。

### < 特産品販路開拓センター事業 >

廃止をするということにさせていただきたいと思えます。ただ、これについては大変いろいろな形で役に立っていることも事実でございますので、私どもとしては今後ともしっかりと自立できるように、小規模事業者の特産品販売促進のためにより有効で効率的な支援策に知恵を出して、それぞれの皆さんがしっかりと自立ができるような体制をとっていきようにしていきたいと思っております。

### < 創業塾・経営革新塾 >

廃止とさせていただきたいと思えます。今のやり方で行う事業は廃止した上で、中小企業者の創業や経営革新のために真に効果のある支援策を今後ともしっかりと検討していくべしということをつけ加えさせていただきたいと思えます。

### < 地域資源活用型新事業 >

総合的に判断いたしまして、抜本的に改革をしていくということにしたいと思えます。支援終了後も事業につながっていくよう、このような支援を今後ともしっかりとやっていきたいというように私ども考えてございます。また事業者の負担、現在100%補助でございますが、これを引き上げることも検討したいと思っております。さらに効率化の問題、これについても見直しをしていくということにしたいと思えます。